



**ごあいさつ**

仙台市議会議員として働かせていただくようになってから、早いもので間もなく1年を迎えようとしております。

これまで4回の定例会等、数々の市政の場に立たせていただいておりますが、これも皆様のお支えと応援があればこそ心から御礼申し上げます。

市政活動につきましては、大判の報告誌にて、年2回のご報告を計画しておりますが、その他の

平素の活動については、なかなかご報告がかなわないことなどもあり、簡易にお伝えすべく、時折、ミニ報告誌を発行しようとの思いに至りました。今後も地域と行政との橋渡し役として、日々学びつつ現場に赴き、皆様のお声を聞きながら仕事に取り組んで参りますので、引き続きお教を賜りますようお願い申し上げます。

暑気厳しき折、くれぐれもご自愛くださいませ。

菊地 崇良（きくち たかよし）

### 写真による4~7月の活動状況（抜粋）



防災集団移転の説明会等



委員会視察（市内・他都市）



地域総合防災訓練等の視察・参加



社会貢献団体との連携・協力



他都市議員・地区からの視察対応



自民党政令都市議員合同総会



企業等フォーラムでの講話



市・地域や自衛隊等行事への参列



拉致被害者を救う諸活動

## オリンピックの激励

ロンドンオリンピックには、仙台からも多数の選手が参加しています。日の丸を掲げ、子供たちの夢をつなぎ、人々に力を与える選手皆さんのご活躍を、

地域をあげてお祈りしています！

**がんばれ  
日本！**

(写真:学校・PTAと地域の防災訓練に引き続き行われた地元選手の壮行会)



## 地域の方の『声』



前七郷地区町内会連合会会長  
前七郷社会福祉協議会会長  
庄子 義 (ただし) さん

昨年の大震災で改めて感じたことは「支え合い」「助け合い」の大切さにほかなりません。

隣組の必要性を再認識しましたが、会長等の職を退いた今、「顔の見える隣組」という考えを地域に根ざすため、一市民としてその具現化に力を果たしていきたいと思っています。

ドアの鍵はかけても、心の鍵をかけない地域社会になることを心から願っております。

## 平成24年仙台市議会第2回定例会(一般質問・速報)

- 被災者生活再建支援(各種減免税措置の継続(※1)、復興公営住宅の低廉化(※2)等)
- 防災集団移転の新街区の形成と周辺街区との安全・快適な道路の整備
- バス路線の見直し及び将来構想(環状線を含む)
- 仙台東地区圃場整備の推進(揚排水機回復・良質な客土の確保)(※1)
- 仮設焼却炉への発電機設置
- 労務単価・入札状況の改善等による復興資金の地元還流のための特区の活用(※1)
- 仙台市のスポーツ振興の方向性 ○ 月2回の土曜日授業の導入
- 仙台市による市民・議会に対する情報提供の在り方

⇒ (仙台市の対応)

※1については国に対する市の要望書(7月)にも記載されました。

※2には後日、市が年金生活者等の低所得者を考慮した低価格を発表しました。

その他については、全般的に前向きな検討・改善について回答されています。

★ 細部は9月発行予定の報告誌でご報告します！

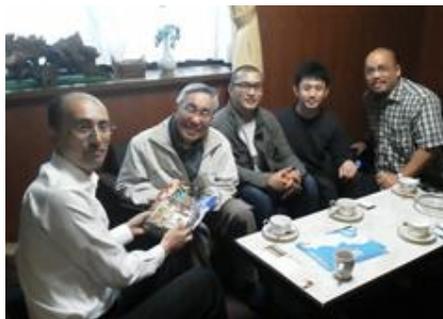
## 世界からの応援



菊地事務所では昨年震災より、日本各地のみならず世界各国から多くの支援をお預かりしました。アメリカからは

コロンビア大・元美術教授の中川画伯(上)が、被災地1,000人のポートレートを描くため七度来日され、世界が忘れないためにと『日本からの声』と題した

個展を現在ニューヨークで開催し、ウズベキスタン(右上)からは仙台の方が設立に携わった日本語学校から、或いはハワイの教会から子供たちの応援メッセージ(右)等が届けられています。世界各国からの支援に感謝しつつ、復興に向け力を！



## おねがい

地域との双方向型の政治を目指しています。

地区等での市政説明や意見交換の場を設けて頂ければ、少人数でも喜んで参りますのでご連絡をお願いいたします。



町内等での復興計画説明